



研修便り



高知市教育研究所教職員研修班
平成26年7月24日発行 No.48

専門・教育課題 選択研修 平成26年度 情報教育研修会（研修番号1）
『デジタル教科書を活用した授業づくり（小学校対象）』

平成26年5月20日（火）実施

デジタル教科書の活用

（5年生 デジタル教科書：東京書籍）

デジタル教科書活用の三つのステップ

- ① **見せる** → 「見せたいところだけ大きく見せる」「教科書にない資料を見せる」
- ② **動かす, 隠す, 書く** → 「見せ方にアレンジを加える」
- ③ **つくる** → 「オリジナルの教材やワークシートをつくる」

デジタル教科書の主なツール

めくりツール

必要な部分を隠すことができます。
付箋としても使用できます。

音声再生

音声資料のあるページで、音声を再生することができます。

新出漢字

表示単元の新出漢字の一覧を表示します。クリックすると、書き順アニメーションが始まります。

MY教科書エディタ

教科書の要素を使用して、自由に編集ができます。教材やワークシートが簡単に作れます。

「デジタル教科書」は、クラス用端末（12番機）のみインストールしています。

クラス用端末とプロジェクタを教室に持って行くことや、電子黒板の活用によって、子どもたちの興味・関心を高めることができます。



その他にも、便利な機能がいろいろあります。

ペンツール・スタンプツール・文字入力ツール・朗読ツール・拡大/縮小ツールなど

すべての機能を使うことが、『使いこなす』ことではありません。「これは使える」「これは今回は使わなくていいな」「もう少しアレンジしてみよう!」といった『見極め』ができることが大切です。

※ デジタル教科書は校内フリーライセンス（児童機以外の市教委整備端末にインストールが可能）です。

教育用ソフトウェアの活用

すぐに使える『教育用ソフトウェア一覧』

校内フリーライセンス

【小学校】

- みんなでさんすう(1年～3年)
- 算数シミュレーション(4年～6年)
- ことばのせかい(1年～3年)
- 漢字マッチ
- からだのたんけん
- 歴史人物館
- ジャストスマイル4

「教育用ソフトウェア」は、コンピュータ室の全台と、職員室のデスクトップ機（11番機）、クラス用端末/タブレット端末（12番機）にインストールしています。



「ジャストスマイル4」は、子どもたちが書いたり発表したりするときに活用できる統合ソフトです。音楽ソフトや情報モラル教材なども同梱されています。

【中学校】

- 学習探検ナビ(LAN接続なしで利用可能)
- ジャストジャンプ4

※ 特別支援学校については、お問い合わせください。

「子どもたちの情報活用能力を育成するため(情報教育)」, 「各教科等の目標を達成するための効果的なICT機器活用のため」, 「校務の情報化のため」に、コンピュータや教育用ソフト等を導入しています。

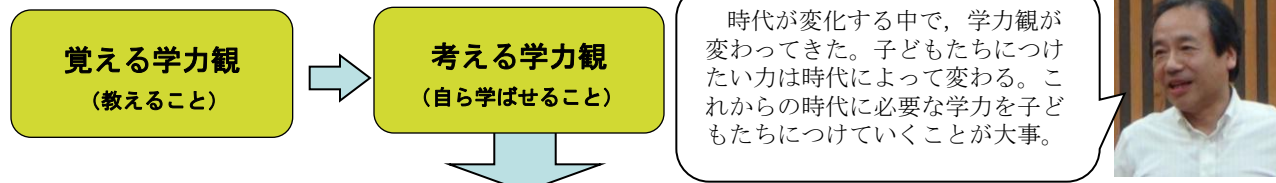
各ソフトの操作マニュアル等の詳細は、「教職員用ポータルサイト」⇒「情報関連」で確認できます。

なお、ご不明な点は、高知市教育研究所 情報教育担当あてご連絡ください。

「教師の力量形成について ～学校全体の教育力を高めるために～」

横浜国立大学 高木 展郎 教授

【授業観の変遷】



思考力、判断力、表現力 コミュニケーション活動を通した学力の育成

各教科における言語活動の充実・活用力を図る学習活動

- ★ 小・中・高等学校を通じ、各教科において、記録、要約、説明、論述といった言語活動を発達の段階に応じて行うことが重要。

小・中9年間で育てる学び方のカリキュラム～「聴いて 考えて つなげる」授業づくり～

- (1) 「聴く」ことを鍛える
小学校低学年は「聴く」ということを徹底的に鍛える。「聴く」ことができていないと「表現する」ことにつながらない。学年が上がるにしたがって、「表現する」ことにつなげる回数を増やす。
- (2) 子どもの思考を支え、発問や指示で「考え」を促す
「どうする。どうして。なぜ。わけは。だから。どうしたい。どういうこと。」
例： 「わからない人、困った人いる？」⇒子どもに説明させる。先生に向かってではなく、周りの子どもに向かって説明させる。教師主導ではなく、集団の中で他者と関わりながら学んでいく言語活動を仕組む。(教師は「聴く」・「待つ」姿勢が大切)

学校全体の教育力を高めるために

- (1) 組織として、一人ひとりの子どもに力をつける。
学校が各教科の指導計画に言語活動を位置づけ、各教科の授業構成や進め方自体を改善する。
- (2) 学校全体で授業のグランドデザインを作成する。
ノート、板書、授業を学校全体で共有化する。どの学年でどのような内容を行っているのかを全教員が把握する。学校全体で授業をつくっていくという意識が大切である。

カリキュラムマネジメント

教師になり続けるには、自分自身が学び続ける存在であることが大切。次代を担う子どもたちの前に立つ私たちが、未来をつくっている。専門職として高度な知識、技能をもち、時代の変化に対応できる教師でありたい。

〈受講者の感想〉

- ・ 今までの様々な研修で学んできたこと、よく耳にするキーワードが頭の中で整理し、つながった！！という感じです。自分の教科でどのように実践したらよいのか、自分の授業を振り返りながら受講していました。
- ・ 参考になるお話がたくさんありましたが、特に明日から即実践したいと思うのは“聴くと待つ”。教師の姿勢と今後の授業づくりの在り方を改めて学ぶことができました。
- ・ 言語活動を質の高いものにするためにカリキュラム作成から考える重要性を再認識することができました。

